

子どもに  
笑顔を！

# 学童保育の仲間と要求前進へ

茨木市の学童保育の現状と労働組合の役割、今後の展望など大いに語りあいました。子どもが大好きで学童保育指導員になったという元気印の4人。分かりあえるメンバーで紆余曲折しながらも、子どもたちの笑顔がいちばん！「だからこそ労働組合の役割が重要」ときっぱり。



左から酒野礼子さん、上村百合子さん、村田美樹さん、池田妙子さん  
「誇りをもって働ける学童をつくりたいね」。みんなの思いをひとつに

茨木市職員労働組合 学童保育指導員支部

- 執行委員長 酒野 礼子さん ■ 書記長 村田 美樹さん
- 副執行委員長 池田 妙子さん、上村 百合子さん



お手紙で「あなたの力が必要です。ぜひ加入して一緒に活動を」と未加入者に呼びかけ

高度な専門性と  
長年の経験を活かして

現在、任期付短時間勤務職員として賃金が少し上がったけれど、3年ごとの選考で「もうダメかも」と気が重たくなります。本来であれば、学童指導員の高度な専門性と長年の経験を活かし、子どもたちを中心に指導員と保護者が連携して運営することが重要です。

要求ベストスリー  
いずれも切実です

私たちの要求第1位は

「任期定めのない雇用継続へ」―若い人たちも安心して働き続けられる雇用保障を実現させたい。2位は「生活できる賃金引上げ」

―一人暮らしどころか人間らしい生活すらできない。3位は「学童保育の職場環境の改善」―子どもと指導員が安全で快適な空間で過ごしたい。いずれの要求も早く実現させたいですね。

もっと仲間を増やし  
要求を前進させよう

茨木市内30校・80保育室、150人の指導員一人ひとりに宛名を書いて、「労働組合はあなたの味方です」との手紙を届けて2人が組合加入。組合員がない職場に配属されて「当局情報もなくて不安。子どもが幼く全て参加が無理だけど…」と加入を決意してくれてうれしです。その一方で「組合に入るメリットは？」との反応もありますが、もっと子育て世代や

若い人に労働組合の必要性や意義を伝えていきたいですね。20人が参加した「しゃべり場」で、「あまりにも劣悪な学童保育指導員の処遇に将来の不安が大きい」との声を聞いて、雇用保障と労働条件の改善が組合として喫緊の課題です。

子どもたちに笑顔の  
学童保育をつくる

「保護者会費が高い」などの声があがり、みんなで一緒に「おやつ」がなくなつて10数年。今は各自持参したおやつを食べています。コロナ禍が過ぎて、保護者や子どもたちを交えての行事の復活は難しいところ。どの学童保育でも私たち指導員の犠牲の上で成り立っている厳しい現実があります。もっと子どもたちと向きあえる学童保育の「質」を高めることが重要です。今後も仲間を増やしながら魅力ある組合めざし、がんばっていきます。



「府民要求連絡会」は、大阪府議会開会日行動として府庁ラウンジタイム集会后に元氣よくパレードしました(9月19日)



「明るい民主大阪府政をつくる会」は、「大阪・関西万博の中止を求める署名」10万5690筆分を首相と閣僚大臣あてに提出しました(9月17日)

## みんなが投票して政治を 変える絶好のチャンス！

物価が上がり続けて、コメ不足や社会保障の負担増など、深刻な国民生活に拍車をかけています。不登校や登校拒否が過去最多となり、子どもたちを追いつめる教育と社会のあり方も問われています。石破首相は「日本を守る憲法改正」を最優先にかかげ、日米軍事同盟の強化とアジア版NATO(北大西洋条約機構)提唱など、「戦争できる国づくり」に国民を巻き込もうとしています。平和な社会の実現、くらし応援、子育てや教育の充実、能登半島の復興支援と災害に強いまちづくり、気候危機の打開、ジェンダー平等など、私たちの良識ある判断で政治の流れを変えましょう。

おおさか  
自治体の仲間

発行：大阪自治労連(大阪自治体労働組合総連合)

2024年10月15日

No.407

F:030-0041 大阪府北区天神橋一丁目13番15号  
大阪グリーン会館4階 ☎06-6354-7201 FAX:06-6354-7206  
E:mail:madoc@osaka-jichiren.jp  
URL:http://www.osaka-jichiren.jp

発行人/坂田 俊之 編集人/尾崎 一美  
毎月15日発行(1部10円) 組合員の購読料は  
組合費に含まれています。

# 選挙は前進を

# 総選挙

10月27日  
投票日